

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

**\*関 勉氏の彗星 S.W. I と書かれた乾板の封筒に入った乾板、フィルム**

国立天文台旧図書館で古い天体写真乾板が見つかり、2008年に発足した天文情報センターアーカイブ室でその整理を分担して行っている。筆者は旧図書館で発見される天体写真以外の雑乾板・フィルムなどの整理を引き受けてきた。

今回収蔵したものは「関さん 彗星 S.W. I プレート 1981.2.25」と書かれた封筒(写真1)に入ったものである。彗星 S.A. I はシュバスマン・バハマン第1彗星と思われる。封筒の中には FUJI X-RAY FILM」と書かれた箱(写真2)があり、その中に3枚の乾板、3枚にフィルムが入っていた。

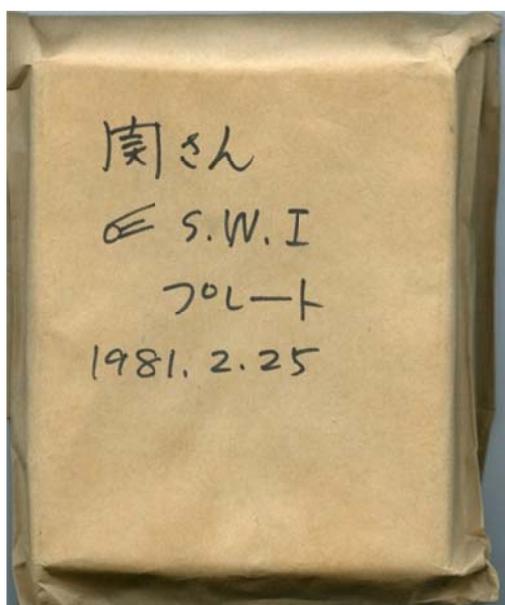


写真1

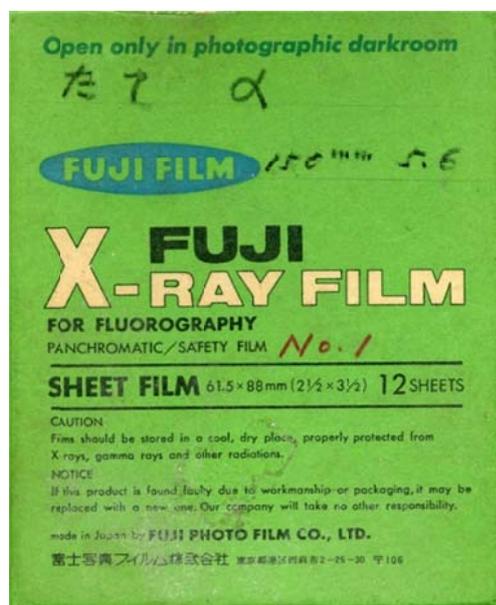


写真2

封筒の表には、写真1のように1981年2月25日の日付があり、関さんの彗星 S.W. I の乾板と書かれているが、封筒の中の箱には「たてα」と書かれている。そして箱に入っていたのはガラス乾板3枚とフィルム3枚で、乾板、フィルムに書かれている事項を表にしたものが表1である。封筒の表書きと内容は全く関係がなさそうである。

	Date	No.	Name	$\alpha$	$\delta$	EXP S	EXP E	現像液
フィルム	1970年6月9日		SCUTUM $\alpha$			3:05	3:10	D-19
フィルム	1970年10月6日	No.2	たて $\alpha$			19:07	19:12	D-19
フィルム	1970年10月19日	No.3	たて $\alpha$			19:00	19:07	
乾板		SG76-80		3h12.8m	29° 21'	23:50	24:02:00	
乾板	1976年10月31日	SG76-81	P/S-W(1)	3h12.0m	29° 20'	27:07:00	27:17:00	
乾板	1976年11月29日	SG76-88	P/S-W(1)			23:59.7	24:09.7	

表1

フィルムの撮影されたのは1970年であり、乾板が撮影されたのは1976年である。1970年6月9日に撮影されたフィルムが写真3である。

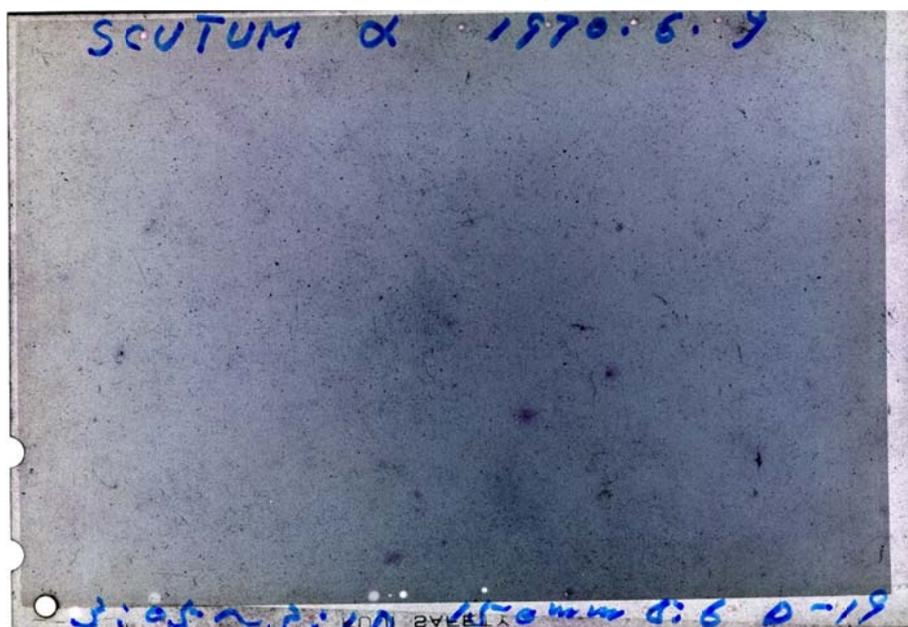


写真3

たて $\alpha$ と書かれたNo.2、No.3が写真4、写真5である。



写真4

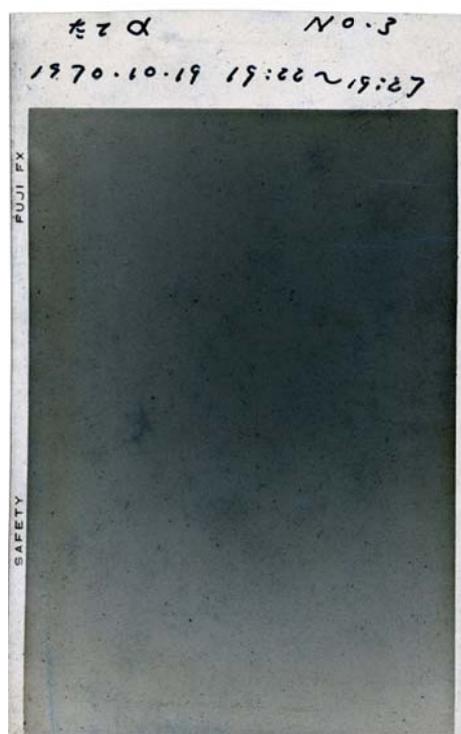


写真5

たて $\alpha$ と書かれているが、たて $\alpha$ は変光星だが通常の明るさは3.85等であるが、これらの星野に明るい天体は見えない。これらの写真を撮影した目的がよくわからない。

写真乾板は天体と思われる名前としてP/SW(1)と書かれているが、これはシュバスマン・バハマン第1彗星と思われる。それらの写真が写真6、7、8である。

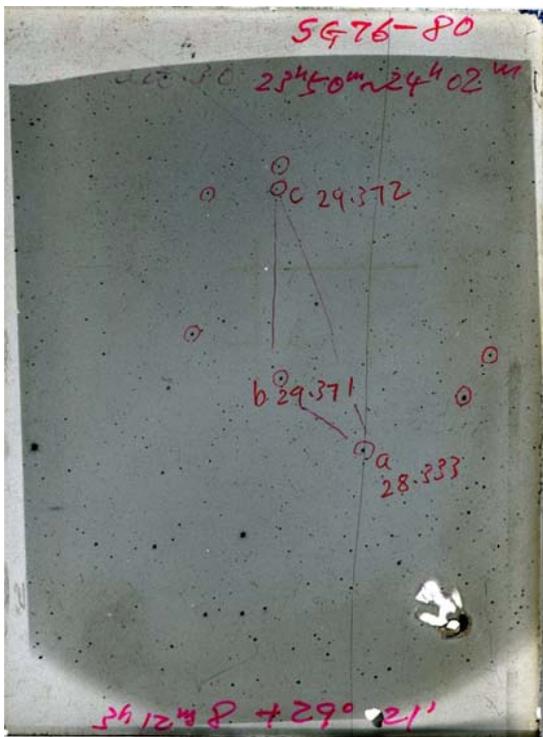


写真6

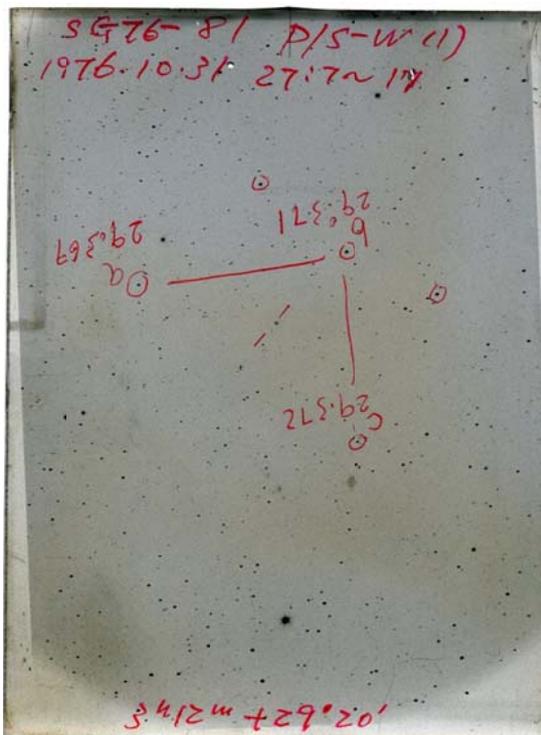


写真7

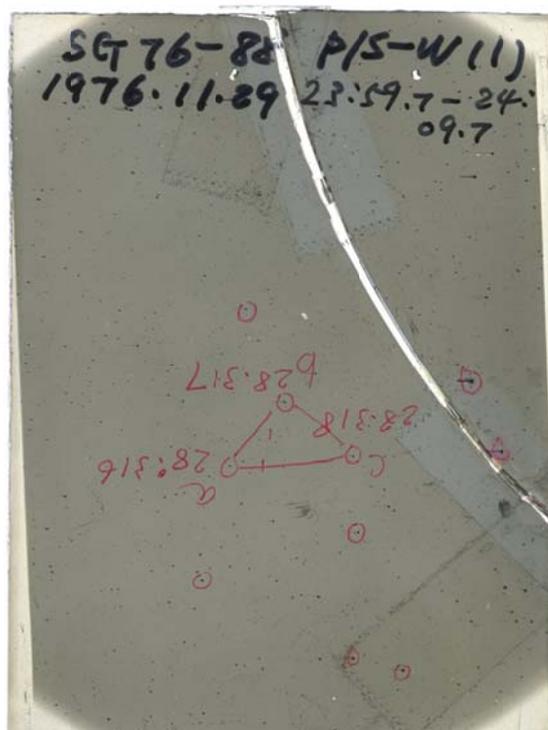


写真8

SG76-88 の乾板は割れている。SG76-81 に撮影されているマークされた部分の拡大写真が写真 9 である。目的天体は彗星と思われる。



写真 9

SG76-88 に撮影されているマークされた部分の拡大写真が写真 10 である。

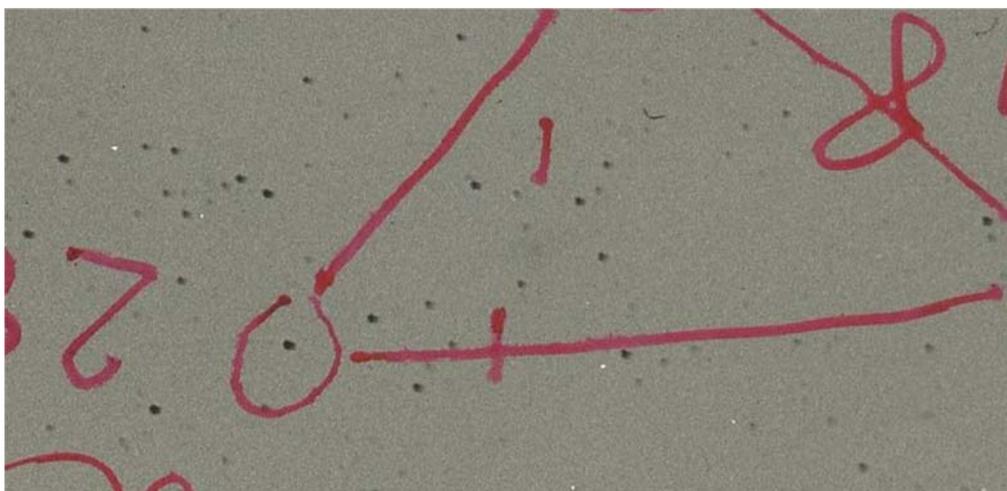


写真 10

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)